

6月議会がスタートし、市会の新体制が決定

平成28年第1回定例会市会6月議会が、6月13日から6月28日まで開かれました。この議会では市会の新体制を決定するとともに、議案などの審議を行い、市政全般に対する一般質問を行いました。(市長提出15件、議員提出1件、合計16件)

6月13日の本会議では、正副議長の選挙が行われ、議長に池田りんたろう議員(民進こうべ)を、副議長に坊やすなが議員(自由民主党)を選びました。また、24日の本会議で6つの常任委員会と3つの特別委員会の委員を選任し、市会の新体制を決定しました。(4面参照)

ごあいさつ

このたび、神戸市会議長・副議長に就任いたしました。

昨年、我が神戸市においても人口が減少に転じるなど、本格的な人口減少社会が到来する中、都市間競争はますます激しくなっております。また、少子・高齢社会も進展していく中で、地方自治体が果たす役割も多様化・複雑化し、より高度な市政運営が求められる状況にあります。

このような中、本市においては、神戸が選ばれるまちとなるよう「神戸2020ビジョン」や「神戸創生戦略」に基づいて、神戸のさらなる発展と成長に資する施策を積極的に展開しようとしております。

私たちは、公正・中立かつ円滑な議会運営に努めながら、二元代表制における議会の使命を存分に発揮し、神戸市民のくらしの安心・安全を守るとともに、神戸がさらに魅力的なまちとなるよう積極的に取り組んでまいります。

また、市民の信頼回復に努めるとともに、開かれた議会に向け、積極的な取り組みを進めてまいります。



議長 池田 りんたろう



副議長 坊 やすなが

平成28年 第1回定例会市会〔6月議会〕の動き

本会議	6月13日	●正副議長選挙
	6月17日	●平成28年度補正予算・条例改正などの議案の提案・質疑
本会議	6月20日・21日	●平成28年度補正予算・条例改正などの議案及び請願・陳情の審査
常任委員会	6月24日	●平成28年度補正予算・条例改正などの議案の討論・採決 ●請願の討論・採決 ●議員提出議案の提案・採決 ●常任委員会・特別委員会・市会運営委員会の各委員選任 4面でご紹介 など
	6月27日・28日	●一般質問 2・3面でご紹介 ●閉会

次期市会の予定

第2回定例会市会〔9月議会〕は9月中旬から開く予定です。

可決した主な議案

神戸市敬老祝い金に関する条例を廃止する条例

満88歳・満100歳の誕生日を迎える方に支給していた敬老祝い金を廃止します。

神戸市住居等における廃棄物その他の物の堆積による地域の不良な生活環境の改善に関する条例

地域の生活環境に深刻な影響を及ぼしている建物等の不良な状態を改善するために必要な事項を定めます。

神戸市空家空地対策の推進に関する条例

空家及び空地の適切な管理等を推進するために必要な事項を定めます。

神戸空港条例の一部を改正する条例

公共施設等運営権を設定するに当たり、運営権者が行う業務に関する規定などを追加します。

意見書の提出

次の意見書を国に提出しました。

- 子供たちに豊かな教育環境をつくるための教職員の定数改善を求める意見書

「神戸の観光振興に向けた提言」を市長に提出しました

経済港湾委員会では、神戸の観光振興に向けてテーマを定め、参考人招致や意見聴取・意見交換を行うとともに、調査活動として市内での実地視察や長崎・福岡などでの行政調査を行ってきました。その成果として、3つのテーマ、全14項目からなる「神戸の観光振興に向けた提言」を取りまとめ、6月10日に市長に提出しました。



市長に提言を提出

平成27年度政務活動費の領収書などをインターネットで公開しています

平成27年度に発覚した政務活動費不正支出の問題を受け、適正な運用を図るための再発防止策を決定しました。その一環として、政務活動費の平成27年度分より、領収書、調査委託報告書及び広報印刷物を神戸市会のホームページで公開しています。

会派名の変更

6月1日付けで民主こうべが会派名を民進こうべに変更しました。

本会議での一般質問から

6月27日・28日の本会議では一般質問が行われました。その主な内容をご紹介します。

(一般質問の録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。)

質問した議員

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 自由民主党……梅田幸広・むらの誠一
山口由美 | 神戸維新の会……高橋としえ |
| 日本共産党……朝倉えつ子・赤田勝紀 | 民進党……高岸米基 |
| 公明党……軒原順子・沖久正留 | 新社会党……小林のみ子 |
| こ民進こうべ……若田嘉晃・永江一之 | 志 神戸志民党……平野章三 |
| | 無 神戸志民党……浦上忠文 |

行財政

超過勤務手当の縮減

自むらの議員

例えば、ごみ収集に従事する職員は、祝日に出務した場合、通常業務にも関わらず、終日超過勤務手当の対象となる。このような祝日のみならず土日も含め、通常業務による超過勤務手当の縮減を全市的に進めるべきではないか。

4月の労務職員に対する時間外勤務手当の支給額については、20政令市中、本市は多い方から5番目であり、土日祝の振替休日の取得についても、まだまだ進んでいない状況にある。今後は、行財政局が中心となり、勤務体制の見直しを進め、振替の取得を徹底し、市全体での時間外勤務手当の縮減にスピード感を持って努めていく。

若者の政策形成過程への参画

公沖久議員

18歳選挙権が実現する今回の参議院選挙を機に、若者の政治的関心を高めるための動きに注目が集まっている。そこで、審議会への若年層の登用など、一歩踏み込んで若者の政策形成過程への参画を検討すべきではないか。



若者と市長の対話フォーラム

市長就任以来、「大學生との円卓会議」の開催など若者の市政への参画に取り組

くらし

神戸への移住促進

岩田議員

兵庫県が今年1月に開設した「カムバックひょうご東京センター」では、専門の相談員が、移住関連の情報提供や県内市町への取り次ぎを行っている。同センターと連携し、受け皿を広げられないか。

移住促進には首都圏でのプロモーションが非常に重要であり、県市が協調して取り組むことを県知事と合意したところである。本市からは同センターに随時、関連資料の送付や施策の情報提供を行っており、今後も積極的な連携を図っていききたい。また、若い世代に神戸を選んでいただけるよう、移住セミナーなどさまざまな取り組みにより、効果的なプロモーションを行っていく。



神戸への移住促進のためのWEBサイトを開設

新たな交通手段の導入検討

永江議員

移動の利便性などを追いつめる都心回帰の意識が進む中、神戸に住み続けてもらうためには、坂道が続く地域は、居住地として交通利便性が課題である。今後の技術革新も見据え、坂道を克服するような先進的な実証実験に引き続き積極的に取り組んでいく。

昨年度、乗り捨て利用が可能なカーシェアリングの実証実験を行った。結果としては、

んできた。さらに、今年度はより直接的に市の政策形成過程に若年世代の声を反映するため、「市長と学生・若手研究者とのディスカッション」なども実施していく。ご指摘の審議会への若年層の登用も含め、より効果的な政策形成過程への参画の場を検討していきたい。

補助金事業の見直し

民高岸議員

補助金については、公益上の必要性の判断や目的に沿って、より有効となるよう見直しを進めるための基準を作成するとしているが、補助金の見直しなどの手続きの透明性の確保や議会への事前説明については、どのように対応するのか。

補助金事業の適正化を図るため、今年度中に全庁的な見直しの統一基準であるガイドラインを策定し、運用を開始したい。各補助金事業の見直しに当たっては、予算案の公表前に見直し案を公表するなど、市民や議会の理解を得ながら進められるよう公表時期などについて工夫し、手続きの透明性を確保していきたい。

水道事業における民間活力の導入

志平野(章)議員

人口減少や施設の更新により、将来経営が悪化し、市民負担が生じる可能性がある。工業用水道事業も含め、民間活力の導入に向けてさらに努力するべきではないか。

「中期経営計画2019」などに基づき、上ヶ原浄水場の再整備や工業用水道事業において、近隣市と共同化・広域化について、協議を進めているところである。その結果を踏まえ、国の調査費などを活用しながら、PFIなどによる民間活力の導入について検討していきたい。

西区役所の移転

神高橋議員

西神中央地域への移転後の現庁舎については、出張所機能が維持される予定とのことだが、出張所機能だけでは地域のにぎわいが失われる。地域住民への私独自のアンケートによると、子どもたちの居場所づくりを求める意見が多かった。移転後の地域の活性化について見解を伺いたい。

西区庁舎の基本計画を平成28年度中に策定する。移転後の庁舎の活用方法や機能は大事な課題であり、玉津地域での出張所機能の確保などのご意見をいただいているが、現時点での方向性は未定である。今後、区民の意見や市会での議論を十分踏まえながら検討を進めていきたい。

東日本大震災における原発事故避難者問題

新小林議員

自主避難者に対する応急仮設住宅としての市営住宅の無償提供が、来年3月末で終了するが、国や福島県に支援継続を求めつつ、神戸市としても独自の住宅支援を継続できないか。

仮設住宅の入居期間は、被災自治体である福島県が復興状況や今後のまちの活性化などを考慮して決定したものであり、本市としてはその意向を尊重し、継続は求めない。福島県としてはもう一度戻ってまちづくりに参加してほしいという願いがあると思う。神戸におられる間は不自由を感じることがないようしっかりと行政サービスを提供することが本市の責務である。

健康・福祉

屋外での受動喫煙防止対策

自むらの議員

現在、阪急三宮駅のすぐ北側の通りには、東西250mの間に灰皿が6カ所設置されており、多くの方が受動喫煙にさらされる危険がある。外国人観光客を含め、神戸を訪れる方々を受動喫煙から守るため、神戸市として屋外での受動喫煙防止対策にも早急に取り組むべきではないか。

ご指摘の地域は商店街組合が、歩きタバコ・ぼい捨て防止の観点から、灰皿を設置しているが、一方で、歩行者が受動喫煙の影響を受ける可能性がある。G7保健大臣会合を機に、地元商店街や地域に理解と協力をさらに求めるとともに、関係機関と連携し、受動喫煙防止の対策強化に努めたい。

障害者の短時間雇用

自山口議員

週20時間未満の労働時間での雇用を希望する障害者は、法定雇用率算定上の常用労働者の範囲に含まれないため、就労が進んでいない。神戸市が主導し、一般企業での障害者の短時間雇用の導入を促進するべきではないか。

週20時間未満の短時間勤務については、東京大学先端科学技術研究センターやソフトバンクで取り組んでいるほか、川崎市が準備を行っていると聞いている。

難病・障害のある子どもたちへの支援

自山口議員

神戸市には、難病や障害それぞれに支援施設や相談機関などがある。これらの施設などと医療機関が連携し、子どもたちが地域で生活するための課題を共有することが必要ではないか。

疾病・障害の状況や年齢などにより、一人一人に対する支援の方法は異なっており、地域全体での支援体制を一律に構築することは難しい。まずは、医療的ケアが必要な重度障害児者の医療情報と共有化し、救急など緊急時にも円滑に情報のやり取りができる仕組みを医療や障害福祉サービスの事業者、学識経験者などの意見を聞きながら検討していきたい。

ノーリフティングの普及・啓発

公軒原議員

介護現場で腰痛は、大きな問題となっている。国が紹介している次世代型介護技術のノーリフティングについて、神戸市は介護従事者向けの研修や介護職防止のための一般市民向け広報などに積極的に取り組むべきではないか。

ノーリフティングは、介護職員の腰

産業

農産物の海外展開

自梅田議員

神戸産農産物の海外展開により、神戸の農業を稼げる農業にするためには、販売先の確保のほか、輸送方法の確立や輸出コストの削減など課題は多い。今後、さらなる海外展開に向け、どのように取り組んでいくのか。



香港フードエキスポ2015

昨年の「香港フードエキスポ」への出

元町高架通商店街(モトコー)への支援

公朝倉議員

モトコーについては、J・R西日本が、耐震化工事を理由に契約の更新をしないと発表した。店舗については再整備後に新たにテナントとして入居してもらうとしている。商店街が今と同じ条件で、営業が続けられるようJ・Rに強く働きかけるべきではないか。

今回の工事については、公共交通機関の安全・安心の確保の観点から、やむを得ないと考え、地元の方々が、モトコーしさを大切に思っており、J・Rも地元の声を聞きながら今後を検討して

いくとのことであるので、モトコー独自の文化や雰囲気を出る限り活かしていけるよう、引き続き強く働きかけていく。

商店街・市場への支援策

公沖久議員

商店会が財政面で余力がない場合、アーケードなどの機能不全や老朽化に対して補修がされず、安全性の観点からも危惧される。今後このような箇所が増加が予想される中、改めて実態を把握するとともに、関係部局が連携し、対策を早急に講じるべきではないか。

商店街などが所有する共同施設の適切な維持管理を目的に、平成27年度から共同施設の撤去も補助金の対象とした。今後も、商店街などの声をよく聞き、老朽化が進んでいる施設の実態把握に努め、既に商店街としての機能が脆弱になっている地区でも、緊急性や安全性などを総合的に考慮し、関係部局が連携して対応していきたい。

その他

新神戸高速道路橋桁落下事故への対応

公朝倉議員

事故による国道17号の通行止め解除は7月中旬ごろのことだが、住民の生活道路である市道の通行止め解除の見通しは全く示されていない。早く通行できるよう神戸市から事業者に強く求めるべきではないか。

事業者に対して、事故直後に国道17号の早期開放などの申し入れを行った。

関西電力株主総会での市長発言

公赤田議員

市長が出席する関西電力の株主総会において、再生可能エネルギー活用を

推進する意味からも、原発の再稼働や石炭火力発電所はやるべきとの立場を、株主として明確に示すべきではないか。

東日本大震災以降の二度にわたる電気料金の値上げで、大きな負担を強いられている市民のくらしと市内事業者の経済活動を守るため、株主総会では、一刻も早い電気料金の値下げを訴えたい。また、再生可能エネルギーの活用や原子力への依存度低減を主張し、政府の「エネルギー基本計画」に基づくエネルギーのベストミックスを早期に示すよう提言していく。

新しく決まった各委員会の委員をご紹介します

常任委員会

〈議員を6つのグループに分け、市の事業を分野ごとに審査する委員会〉 ◎委員長 ○副委員長

総務財政委員会(11人)

市の基本計画、財政、監査などに関すること



◎山下 てんせい
(自由民主党)
西区



○軒原 順子
(公明党)
長田区



高橋 としえ
(神戸維新の会)
西区



今井 まさこ
(日本共産党)
垂水区



大かわら 鈴子
(日本共産党)
兵庫区



むらの 誠一
(自由民主党)
須磨区



平野 章三
(神戸志望党)
垂水区



安達 和彦
(自由民主党)
須磨区



平野 昌司
(自由民主党)
兵庫区



藤原 武光
(民進こうべ)
垂水区



吉田 謙治
(公明党)
西区

企業建設委員会(11人)

公園、道路、水道、市バス、地下鉄などに関すること



◎しらき 高太郎
(自由民主党)
垂水区



○永江 一之
(民進こうべ)
灘区



光田 あまね
(神戸維新の会)
中央区



林 まさひと
(日本共産党)
西区



堂下 豊史
(公明党)
北区



金沢 はるみ
(日本共産党)
北区



坊 やすなが
(自由民主党)
北区



大井 としひろ
(民進こうべ)
須磨区



藤本 浩二
(公明党)
西区



前島 浩一
(民進党)
西区



たけしげ 栄二
(自由民主党)
垂水区

文教子ども委員会(12人)

学校、子育て、区役所などに関すること



◎人見 誠
(民進こうべ)
北区



○植中 雅子
(自由民主党)
北区



外海 開三
(神戸維新の会)
東灘区



諫山 大介
(民進党)
灘区



大前 まさひろ
(日本共産党)
中央区



徳山 敏子
(公明党)
北区



赤田 勝紀
(日本共産党)
垂水区



小林 るみ子
(新社会党)
灘区



平井 真千子
(自由民主党)
長田区



川原田 弘子
(民進こうべ)
垂水区



北川 道夫
(公明党)
東灘区



守屋 隆司
(自由民主党)
兵庫区

経済港湾委員会(12人)

観光、商工業、農漁業、空港、港などに関すること



◎味口 としゆき
(日本共産党)
灘区



○吉田 健吾
(自由民主党)
灘区



山本 のりかず
(神戸維新の会)
北区



高岸 栄基
(民進党)
東灘区



沖久 正留
(公明党)
中央区



梅田 幸広
(自由民主党)
西区



岩田 嘉晃
(民進こうべ)
西区



壬生 潤
(公明党)
垂水区



あわはら 富夫
(新社会党)
中央区



松本 のり子
(日本共産党)
東灘区



安井 俊彦
(自由民主党)
東灘区



松本 しゅうじ
(無所属)
須磨区

福祉環境委員会(11人)

高齢者、地域医療、保健所、環境などに関すること



◎山口 由美
(自由民主党)
西区



○山本 じゅんじ
(日本共産党)
須磨区



住本 かずのり
(神戸維新の会)
須磨区



西 ただす
(日本共産党)
東灘区



高瀬 勝也
(公明党)
灘区



橋本 健
(自由民主党)
中央区



坊池 正
(自由民主党)
西区



平木 博美
(民進こうべ)
中央区



浦上 忠文
(無所属)
東灘区



北山 順一
(自由民主党)
長田区



大澤 和士
(公明党)
垂水区

都市防災委員会(11人)

防災、都市計画、住まい、消防などに関すること



◎向井 道尋
(公明党)
須磨区



○五島 大亮
(自由民主党)
北区



朝倉 えつ子
(日本共産党)
北区



新原 秀人
(民進党)
兵庫区



長瀬 たけし
(自由民主党)
東灘区



菅野 吉記
(公明党)
兵庫区



森本 真
(日本共産党)
長田区



川内 清尚
(民進こうべ)
垂水区



浜崎 為司
(自由民主党)
長田区



岡島 亮介
(無所属)
西区



池田 りんたろう
(民進こうべ)
北区

特別委員会

特定の事柄を審査するため、必要の都度設置される委員会

◎委員長 ○副委員長 △理事

外郭団体に関する特別委員会(15人)

◎川原田 弘子
○菅野 吉記
△山下 てんせい
△大かわら 鈴子
△人見 誠
△山本 のりかず
諫山 大介
朝倉 えつ子
林 まさひと
徳山 敏子
五島 大亮
小林 るみ子
平井 真千子
藤本 浩二
安井 俊彦

大都市行財政制度に関する特別委員会(15人)

◎坊池 正
○平木 博美
△植中 雅子
△西 ただす
△高瀬 勝也
△外海 開三
永江 一之
新原 秀人
今井 まさこ
しらくに高太郎
山口 由美
軒原 順子
森本 真
むらの 誠一
向井 道尋

未来都市創造に関する特別委員会(15人)

◎沖久正留
○長瀬 たけし
△味口 としゆき
△吉田 謙治
△大井 としひろ
△光田 あまね
大前 まさひろ
吉田 健吾
高岸 栄基
堂下 豊史
山本 じゅんじ
橋本 健
岩田 嘉晃
あわはら 富夫
守屋 隆司

市会運営委員会(12人)

議会運営を円滑にすすめるため、日程や議事の取扱い等を協議する委員会

◎委員長 ○副委員長 △理事

◎北川 道夫
○梅田 幸広
△森本 真
△沖久正留
△大井 としひろ
△住本 かずのり
朝倉 えつ子
西 ただす
山下 てんせい
山口 由美
平木 博美
守屋 隆司

監査委員(2人)

岩田 嘉晃 | 橋本 健

農業委員会委員(4人)

林 まさひと | 堂下 豊史
植中 雅子 | 前島 浩一

阪神水道企業団議会議員(7人)

赤田 勝紀 | 安達 和彦
長瀬 たけし | 藤原 武光
菅野 吉記 | 大澤 和士
むらの 誠一

兵庫県・神戸市調整会議委員(2人)

坊 やすなが | 池田りんたろう

関西広域連合議会議員(2人)

安井 俊彦 | 藤原 武光